カトリアの日記

南中の月17日

あのいまいましいエルフの策士め！呪われるがいい！私の草稿を、私の発見を盗み、それを自分の名で発表するとは！20年もの人生を費やして遺跡を調べ上げたあげくに、得たものが献辞ひとつだと？何が“我が友であり同僚でもある”だ。ひとを馬鹿にして！

だが、最後に笑うのはこっちだ。タロンは私の学説を手に入れたかも知れないが、その根拠となるものはまだ何ひとつ持っていない。こっちが先に鋳造器具を探し出すことができれば、これが私の発見だということを世に示せるかもしれない。彼ではなく、私の発見だということをな！

収穫の月4日

手掛かりを見つけた。ムズンドゥのカビ臭い古書の1冊に、鋳造器具に関する記述があった。すっかりボロボロになっているが、何枚かの断片の写しを取ることができた。中には第一紀のドゥーマーの王国の地図もある。戻ったら現代の境界線と比較してみなくては。



これがその結果だ。

1—アルクンザムズ

この“アルクンザムズ”は碑文にも出てきた。間違いなく例のエセリウム研究の主要拠点だ。ここから始めるのが良さそうだ。

2—

“ブサーゼル”（“同盟都市”の意？）との記述あり。だがブサーダムズではない。その北か、北西の川の上に位置する、もっと小さな場所のようだ。

3—

エセリウムの最も主要な供給源。もっと深い鉱床から掘り出した？

4—

ある大都市のすぐ外に位置する未精錬のエセリウムの保管場所。エセリウムは“高調波による爆発を起こしやすい”ため、街の外に置かざ

るを得なかったのだろう。

5—

名前も、それを特定できる情報もないが、ボロボロの図表が何ページも続いていた。判読できる部分は少なかったが、見たところ、アストロラーベがひとつと、歯車がひとつと、4つのパーツに分かれた一種のクレストか？これが鋳造器具のありかを示しているのだろうか？ともかく何か重要なものではある。

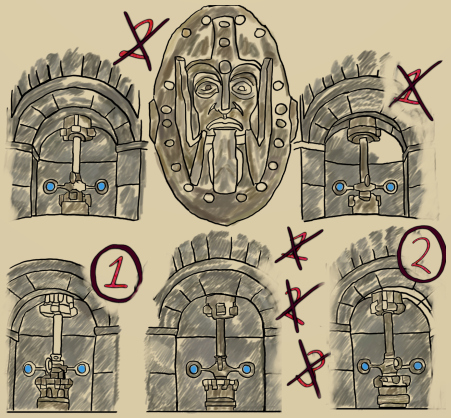
収穫の月22日

アルクンザムズ。私の地図は大ざっぱかも知れないが、ここにたどり着くことはできた。これにもそれなりの意義はあったのかも知れない。

収穫の月23日

宝物庫にたどり着いた。色彩の鍵が掛けられており、まだ機能している。死体があるところを見ると、わなもまだ機能していると考えたほうが無難だろう。

なんの手掛かりも見つからなかったので、見取り図を作って慎重に通過しようと思う。共鳴装置は5つ。音も5つだ。これと正しい順番で打つだけだが、さて…



カトリアの日記

FormId	dawnguard.esm:0146DB
Owning plugin	dawnguard.esm
Local FormId	0146DB
Editor ID	DLC1LD_KatriaJournal
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal03
Value (gold)	15
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	3
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.